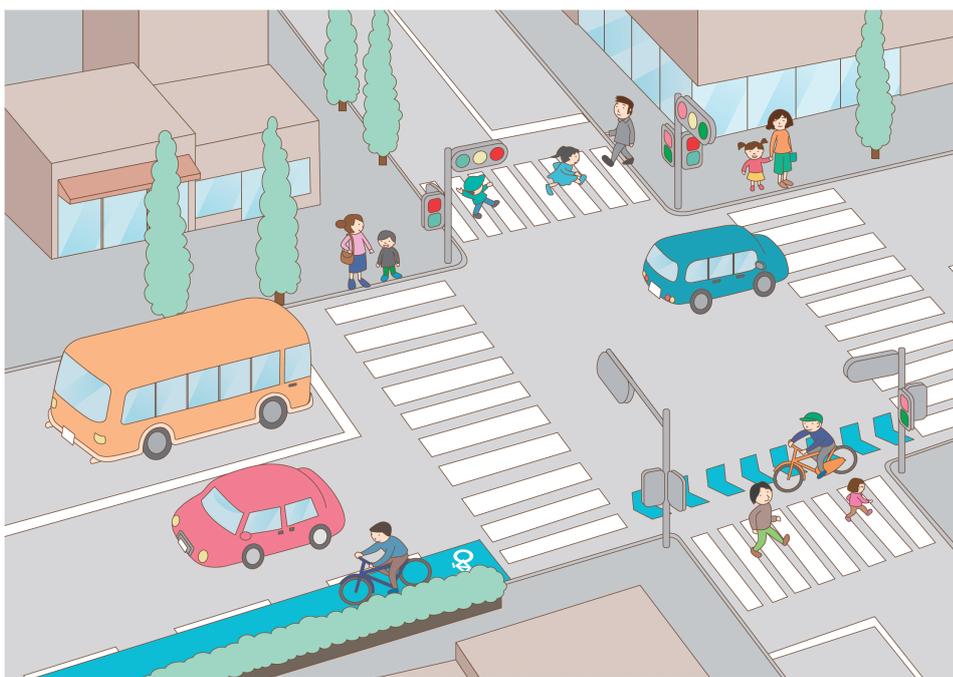


調布市における これからのみちづくり

～(仮称)調布市道路網計画について～

はじめに

1. 現状と課題
2. これからのみちづくり
3. 道路網計画の目標
4. 道路網構築の視点～道路に期待される機能～
5. 今後の予定



はじめに

調布市内の都市計画道路は、大部分が昭和37年に計画決定されており、その計画に基づいて道路整備を進めてきました。昭和37年当時は、人口が急増し、経済は急速に発展を遂げようとしていた時代です。道路は、増加する自動車に対応することに主眼を置き計画されました。

それからおよそ50年が過ぎ、状況は変わりました。わが国は、これから人口が減少し、超高齢社会を迎えようとしています。また、大規模な地震をきっかけとして防災意識の高まりも見られます。調布市内では、平成24年8月に京王線の地下化が実現し、調布のまちは今、大きな変貌を遂げつつあります。こうした状況の変化をとらえ、今の時代にあった道路の計画に見直すことの必要性が生じてきました。

そこで、調布市では、都市計画マスタープランの将来都市像として掲げる「住み続けたい 緑に囲まれるまち 調布」の実現に向けて、現在の都市計画道路と生活道路の計画を一体的に見直し、調布市を取り巻く状況等に対応した『（仮称）調布市道路網計画』を策定することとしました。

本資料『調布市におけるこれからのみちづくり』は、将来の新しい道路網を検討していくための基本的な考え方を整理したものです。今後さらに検討を進め、平成27年度末に『（仮称）調布市道路網計画』を策定する予定です。